



2021年11月4日

各位

会社名 神鋼鋼線工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 河瀬 昌博
 (コード番号 5660 東証2部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 吉田 裕彦
 (TEL. 06-6411-1051)

2022年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異および
 通期連結業績予想、期末配当に関するお知らせ

2021年5月11日公表の2022年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値と本日公表の実績値における差異の発生および2022年3月期通期連結業績予想、期末配当予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期累計期間予想値(2021年4月1日～2022年9月30日)と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,300	50	50	20	3.39
今回発表実績 (B)	14,075	69	175	128	21.88
増減額 (B-A)	△ 225	19	125	108	
増減率 (%)	△ 1.6%	38.0%	250.0%	540.0%	
(ご参考)前年第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	12,746	△ 325	△ 273	△ 205	△ 34.72

2. 2022年3月期業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,000	750	700	500	84.84
今回発表予想 (B)	30,000	400	450	330	56.00
増減額 (B-A)	—	△ 350	△ 250	△ 170	
増減率 (%)	—	△ 46.7%	△ 35.7%	△ 34.0%	
(ご参考)前年実績 (2021年3月期)	26,827	△ 166	138	208	35.25

3. 業績予想と実績値との差異の理由および通期業績予想について

第2四半期累計期間において、売上高は予想通りに推移し、徹底したコスト削減に取り組むことで、第2四半期累計期間の営業利益、経常利益、親会社に帰属する四半期純利益は予想値を上回りました。

また、通期業績予想に関しては、世界的な新型コロナウイルスの影響や半導体不足による足下の自動車生産台数の一時的な落ち込み影響は大きいものの、その一方で機械分野を中心とした鋼索需要の回復を想定し、売上高は前回予想通りといたします。しかしながら利益面においては、鋼材を中心とした原材料価格や副資材価格等の高騰が顕著であり、継続的なコストダウンおよび販売価格の改定等に取り組むものの、収益への下押し圧力が強く、前回予想を修正いたします。

4. 2022年3月期配当

基準日	年間配当金		
	第2四半期末 (2021年9月30日)	期末 (2022年3月31日)	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想(2021年5月11日)	0.00	30.00	30.00
今回予想	-	20.00	20.00
当期実績	0.00		
(ご参考)前年同期実績 (2021年3月期)	0.00	10.00	10.00

5. 配当(中間・期末)について

配当につきましては、安定した収益基盤の確保に努めると共に、一層の経営基盤の強化や将来の事業展開を勘案し、内部留保の充実を図りながら、連結配当性向30~40%(年間)程度の継続的な利益還元を目指すことを基本方針としております。

本方針に基づき、当期の中間配当は実施しないこと(2021年5月11日公表の通り)を本日開催の取締役会において決定いたしました。なお、通期業績予想の修正に伴い、期末配当予想は1株当たり20円に修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上